



# 市議会だより

## 高校生のみなさんと議会が対談

実施日：令和3年8月5日(木)



今回、未来を担う若い世代の声を聞きたいということで、富士見高等学校生徒会の皆さんに富士見市議会の議場においていただき、対談を行いました。

当日は、日ごろ感じていることなどを交えて、和やかな雰囲気の中で様々な話を聞かせていただきました。

△学校や私生活において、コロナ禍で大変だったことなどは？▽

【大変だったこと】

●学校に行けず、授業も受けられず、新しいクラスの友達と会えなかった。

●何をしたらいいのかわからなかった。

●外出を控え、学校でも行事ができず、高知への修学旅行も行けなかった。

●母が介護職なのでコロナの感染には特に注意しなければならず、友人と遊ぶ時間も気を付ける必要があった。

●今の時期は特に暑いので、マスクをずっとしないといけないが大変。

●生徒会の活動では人数が多いので一つの部屋に集まらず、先生からアプリでメッセージをもらって活動していた。

【変わったことなど】

●家族との会話が増えた。

●自分を見つめ直す時間ができ、進路のことなどを考えた。

●家にいることが増えて料理など趣味に使う時間が増えた。

●料理を始めるきっかけになった。

●家にいる時間を使って、母に楽をさせたいと思った。



△高校生からのメッセージ▽

●大変な状況ではありますが、感染防止の意識を持ち是非外出を自粛してください。

●コロナ禍でお仕事が大変だと思いますが、楽しく工夫をしながら頑張ってください。

●学生は夢を持つことでやりたいことも増えるし世界も広がります。後悔がないよう思ったことをすぐに小さな事からでも行動に移すのが大事だと思います。

●悩んだときは我慢するだけでなく、一時的に逃げ道をつくり吐き出すことも大切です。それには友人など、何でも話せる人が必要です。小さな発言や行動で相手を傷つけてしまうこともあります。少しでも相手を思いやる気持ちで、より過ごしやすい環境をつくるのだと思います。

【編集後記】

コロナ禍で制限の多い高校生活の中、上手に工夫して辛いことを価値あることに置き換えて生活している様子がうかがえました。

また、対話を通して、皆さんにとっても思いやりがあること、自分の個性を活かして社会などの役に立ちたい、他の人を喜ばせたいという気持ちが強いことを感じました。

心に残るメッセージもいただきました。これからの活躍、大いに期待しています。

※この記録は、対談での発言をまとめたものです。発言内容は、趣旨が読み取れる範囲で一部要約してあります。

### 参加してくれた生徒会のみなさん

3年生

生徒会長 松長谷川さん  
事務局長 岡川さん  
千瑠璃さん  
樺さん

2年生

副会長 山高橋さん  
監査委員長 中橋玲奈さん  
海奈さん

1年生

山内猪口さん  
葉田股さん  
日美依奈さん  
美憂さん  
未奈さん  
々々さん



△将来に向けて、考えていることは？▽

●看護の仕事、子どもにかかわる仕事、世界中の動物に接する仕事など、自分の目標に就くための準備をしている。

●勉強は好きではないが進学したい。

●就職をするが勉強も大事にしたい。

●自分の周りを笑顔にできる仕事に就きたい。

●自分には出来ないはずだったスキルを得たい。

●海外という未知の場所に興味を持っている。



### 「富士見市議会だより」題字について

今号の市議会だよりの題字は、富士見高等学校2年生で書道部の菅野七星さんに書いていただきました。

### 9月定例会トピックス

・9月定例会が8月31日(火)から9月24日(金)までの25日間にわたって行われました。

・市議会議員の新型コロナウイルス感染者が発生したことに伴い、市政一般質問を取りやめ、会期を短縮しました。

・今定例会では、令和2年度富士見市一般会計歳入歳出決算認定をはじめとする9件の決算認定議案や、令和3年度富士見市一般会計補正予算第5号、第6号議案などについて審議し、いずれも原案のとおり可決・認定しました。

# 市政一般質問

市民の皆さんの生活にかかわる諸問題や富士見市の課題などを市議会議員が市に対して質問する市政一般質問について、9月定例会においては、本市議会における新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、全議員からの質問通告の取下げにより行われませんでした。代わりに提出された質問通告に対する市の文書による回答について、内容を要約して掲載します。



根岸 操(立憲)

①新型コロナウイルス関連対策について

Q 自宅療養者への対応は。支援物資の内容を見直し、食べやすい食料品を追加した。

A ワクチン接種の対応は。妊婦及び受験生に対して優先予約を実施した。

Q スポーツ振興について

A 第2運動公園のこれまでの要望事項の進捗は。

A トイレの整備について、6基を更新し洋式便座や男女間の目隠しの設置を予定。立木の剪定はB面3塁側を優先して対応する。

Q スケートボードができる場の設置について。

A 新たなスポーツニーズへの対応を含め検討を進めたい。

③道路行政について

Q 市道第99号線と県道ふじみ野朝霞線交差点(鶴瀬東1丁目付近)の安全対策は。

A 信号機の設置及び交差点の安全対策を管轄に要望する。



田中 栄志(21・未来クラブ)

①学校教育について

Q 新型コロナウイルス感染症に伴う対応は。

A 「3つの密」を避ける新しい生活様式にのっとり、教育活動を継続してきた。今後は、市内の感染状況等を注視しながら、児童生徒の安全を守ることで、学びを保障すること等様々な視点で状況を見極め対応していきたい。

Q 特色ある学校づくりの状況と今後の対応は。

A 新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じ活動等を実施した。今後も、創意を生かし児童生徒の豊かな人間性、自ら学び、考える力の育成に努める活動を充実させたい。

②市制施行50周年について

Q コロナ等の状況も踏まえた現状と課題は。

A 市民アイデアや各課提案事業の具現化に向け、担当課で安心安全な事業実施に向け準備を進めていく必要がある。



深瀬 優子(公明党)

①地域公共交通について

Q 富士見市地域公共交通会議を重ねてきた中で抽出されている要望や課題は。

A 市内循環バスは、みずほ台駅・水谷東線などの運行本数増加の要望があり、課題は増便が難しいことや補助金額の増加である。デマンドタクシーは、高齢者の利用が多いことから利用回数や利用時間拡充などの要望があり、課題は財政負担の増加が想定されることや、運行事業者との調整が必要となることである。

②多様な働き方ができる富士見市の実現に向けて

Q 高齢者の就労促進を。

A 高齢者が活躍できる環境整備は重要。埼玉県「シニア活躍推進宣言企業」に20社、「生涯現役実践企業」に3社が市内で認定を受けている。このような企業を広報富士見やホームページなどで紹介し、高齢者の雇用促進を支援する。



伊勢田 幸正(日本維新の会)

①ICTの活用について

Q 各家庭のWi-Fi環境等の調査結果を受けて、教育委員会の対応は。

A 本年6月の調査で、小学校の約600家庭のうち、Wi-Fi環境が整備されていない家庭は約3%(昨年7月の4.5%からは減少)。オンライン学習を実施する場合、Wi-Fi環境

Q 郵便局に住民票など各種証明書の発行を委託することを可能にした法律を活用しては。一時閉鎖となつて西出張所の代替としても有効と考えるがどうか。

A 今後、郵便局側との話合いの場を設け、実現可能性など様々な議論を交わし、協議を行っていく。



尾崎 孝好(21・未来クラブ)

①危機管理体制について

Q 新型コロナウイルス感染症対策として、市の業務体制の確保等への影響を想定した検討も必要と考えるが現状は。

A 感染リスクを避ける観点から分散勤務などに取り組むとともに、担当者以外の職員でも対応できるよう業務の見える化、リモートワークの環境整備等の対策も進めている。

②スポーツ活動推進に向けて

Q 先般のオリンピックを見ても、スケートボードやスポーツライミングなど新しいスポーツも普及しており、市民ニーズも多様化している。今後も、機会の確保や既存施設の活用も含めた検討も必要と考えるが、現状の取組は。

A 環境の変化や多様化が進んでいることは承知している。策定を進めている第2期富士見市スポーツ推進計画においてスポーツの機会や環境の充実に向けた検討を進めていく。



佐野 正幸(21・未来クラブ)

①事業者支援について

Q 中小企業や個人事業者、これから事業を起こそうと考えている人への経営支援策として、専門アドバイザーが経営支援を行う、Fujiimi Biz(仮称)の設置を。

A 「経営・創業相談」として、専門家が経営課題の解決や事業計画の目標達成まで伴

Q 走型の相談支援を行っていく。福祉施策について

Q 移動販売車などによる買物の利便性向上を。

A 研究していく。

Q 高齢者や障がい者等を対象に、図書館資料の貸出の利便性向上を。

A 障がい者向け宅配サービスの開始し、来館が困難な方の環境充実に取り組む。

Q 高齢者デジタルデバイス(情報格差)解消に向けスマートフォン貸与の実証実験を。

A 現在実施予定はない。渋谷区の実証事業を注視する。



関野 兼太郎(21・未来クラブ)

①新型コロナウイルスの感染拡大を不安に感じている市民への対応について

Q 感染防止に向けた強い危機意識へメッセージの発信を。

A 危機意識醸成を図るため、情報発信を続けていく。

Q 防災行政無線による感染防止へのメッセージを市長から発してはどうか。

A 現時点では考えていない。

②様々な行政課題について

Q 非接触型の通報手段として、スマートフォンを利用した市民通報システムの導入を。

A 9月8日より道路損傷通報サービスの運用を開始した。

③様々な地域課題について

Q 民間所有の管理されていない空地への対応を。

A 所有者によって適正に管理していただきたい。

Q 空家についての対策と同様の扱いをすべきでは。

A 今後想定される国の法整備の行方を注視したい。



山下 淑子(公明党)

①産前・産後サポート事業の更なる充実について

Q LINE子育て相談の開設を。

A 県のLINE子育て相談を周知するとともに、現在取り組んでいるオンライン相談窓口の準備を進めていく。

②児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所について

Q 通所支援事業所のガイドブックの制作を。

A 各事業所と「2市1町相談支援事業所ネットワーク連絡協議会」からの同意が得られ次第、閲覧用の事業所一覧をホームページやガイドブックで情報提供をしていく。

③買物弱者の支援について

Q 富士見市宅配電話帳の更新を。

A 今年度中の宅配電話帳の更新を目指して、掲載内容の見直しや、更新方法等についての検討を現在進めている。



篠原 通裕(公明党)

①分譲マンションの耐震工事促進について

Q 市の取組は。

A 耐震診断・改修補助を行っている。また、今後も固定資産税減額制度の周知や相談の際の情報提供に努めていく。

②初期消火体制充実について

Q 消防車が通報から現場に到着するまでに何分かかるか。

A 市職員及び市民を対象に自殺防止対策人材育成研修を実施した。また、各部署及び関連機関の連携に努めている。

Q 小中学生への取組は。

A 観察と把握、相談体制の充実にも努めており、今後先進事例の研究も行っていく。



篠田 剛(公明党)

①治水対策と洪水災害時の避難について

Q 新河岸川の渋井水門と南畑排水機場について。

A 水門を1門から2門にする工事をしており、令和3年度中に機能を発揮する見込み。新河岸川が増水した際に、早い段階で新河岸川放水路に取り込み南畑排水機場から荒川に放流し、新河岸川下流域の急激な増水を防ぐ効果がある。

Q 別所雨水幹線と別所雨水ポンプ場について。

A ポンプ場付近の吐き口に逆流防止弁を設置した。ポンプは令和4年度末、自家発電機は令和5年度末に完成予定。

②若年がん患者への在宅療養支援について

Q 本市の取組や状況について。

A 情報・相談支援窓口をホームページで案内している。がんについて相談できる身近な場所として相談を実施する。

寺田 玲 (日本共産党)



① 気候危機問題について  
 Q ゼロカーボンシティの表明と気候非常事態宣言を。  
 A 現在、地球温暖化防止活動支援補助金の対象者や対象機器の拡充を検討しており、タイミングを合わせてゼロカーボンシティの表明を行う。  
 Q ② 就学援助制度の充実を  
 A オンライン学習通信費を

対象に追加し各家庭に補助を。  
 A 自宅での環境未整備の児童・生徒については学校に登校していただき、校内通信環境下での学習をお願いする。国において準要保護世帯に対する補助は対象外なので、通信費の拡充は考えていない。  
 Q ③ 高齢者の補聴器補助制度の創設を  
 A 令和2年12月議会では近隣自治体の状況を見ながら研究するとあった。進捗は。  
 A 県内60自治体を実施しておらず現在市民からも要望がないため、実施の予定はない。



川畑 勝弘 (日本共産党)



① 学校給食センターの運営について  
 Q 市は、今回の議案説明会で調理業務を民間委託にする考えを示した。安全・安心な給食を提供するためにも正規調理員を採用し直営で行うべきと考える。市の見解は。  
 A 本市の調理員を含めた技能労務職は、退職者の補充は

行わない考え方があり、今後の正規調理員の定年退職に伴い、現在の体制を続けることが困難となる。よって、民間委託に向け検討していく。  
 Q ② 富士見ガーデンビーチについて  
 Q 公営プールを造ってほしいと市民の声が多く寄せられている。市の見解は。  
 A アンケート調査では、温水プール、芝生のサッカー場、野球場など様々な施設を望む声がある。ガーデンビーチ跡地のより効果的な活用が図れるよう、検討していく。

小川 匠 (日本共産党)



① 新型コロナウイルス感染症対策について  
 Q 「いつでも、誰でも、何れでも」PCR検査を受けられるよう市として体制整備を。  
 A 国からは無症状者に対する積極的な検査までは求められていないため、市として検査体制の拡充は考えていない。  
 Q 事業者への支援の拡充を。

A 現在、小規模企業者支援給付金事業を行っているが、更なる支援策として、同給付金の追加給付を行う。  
 Q ② 西出張所・サンライトホールの早期再開について  
 Q 耐震化工事の見直しは。  
 A 見直しは出ていない。  
 Q 代替施設を設置することについて市長の見解は。  
 A 実現可能な行政サービスの代替手段の検討を重ねる。  
 Q ③ 市道第904号線(鶴瀬西3丁目地内)について  
 A 横断歩道の設置を。  
 A 警察に要望していく。

木村 邦憲 (日本共産党)



① 地域公共交通について  
 Q 東武東上線西側地域への循環バス運行の検討状況は。  
 A 狭隘な道路のため運行は難しいが改めて検討していく。  
 Q 循環バスの台数を増やし運行本数の拡充を。  
 A 車両確保は多額の財政負担が伴う。慎重に検討する。  
 Q デマンドタクシーの利用

回数増を。  
 A 今後、議論していく。  
 Q ② 学校給食無償化について  
 Q コロナ禍が続く中、学校給食を再度、無償化すべき。  
 A 食料費を保護者に負担してもらおう考えに変更はない。  
 Q ③ アスベスト対策について  
 Q 全市内学校施設のアスベスト使用状況を公表すべき。  
 A 除去作業を行う際に保護者、近隣住民に周知している。  
 Q 市としても火災時のアスベスト飛散防止策を行うべき。  
 A 火災現場の調査や飛散防止対策を行う考えはない。

小泉 陽 (21:未来クラブ)



① デジタル社会の実現について  
 Q デジタル改革関連法施行に伴う本市の対応は。  
 A 本市のDX推進計画を策定し、市民の利便性向上、業務効率化により、行政サービスの更なる向上に繋げていく。  
 Q ② サマーレビューについて

Q サマーレビューの活用の方は。  
 A 現時点では実施結果を積み重ね、効果を検証し、活用判断をする。また、現年度の予算の見直しは、適宜、補正予算により対応していく。  
 Q ③ 危険箇所への対策について  
 A 土砂災害危険箇所への対策は。  
 A 市内の傾斜地にある公園は斜面及び土留擁壁等の変状、斜面沿いにある道路は陥没や亀裂等について、日常点検による安全確認を継続して行い、対策及び管理をしていく。

熊谷 麗 (草の根)



① 学校選択制について  
 Q 学校選択制導入への課題は。  
 A メリットもあるがデメリットも多く、当市では学校選択制の導入は考えていない。  
 Q 学区外通学を認める理由に柔軟性を持たせてはどうか。  
 A 通学区は「富士見市児童生徒区域外就学措置基準」に

則り定めているが、相談された際は、面談時間を設け、丁寧かつ慎重に対応する。  
 Q ② 市内スポーツ施設の整備について  
 Q テニスコート、サッカー場を整備する予定は。  
 A 現在具体的な整備予定はないが、第2期富士見市スポーツ推進計画の中で、課題を整理しながら検討を進める。  
 Q ③ 人と動物が共生できるまちづくりへの取組を  
 Q イエローチョーク作戦導入について。  
 A 他市の事例を研究する。

加賀 奈々恵 (草の根)



① 孤独・孤立対策について  
 Q 夏休み明けの子どもの孤独・孤立対策のために、タブレット端末を活用して、相談窓口の周知や、SOSを発信できる仕組みづくりを。  
 A 研究する。  
 Q ヤングケアラーの実態把握調査を全庁的なプロジェクトチームを設置して行うべき。

A プロジェクトチームの設置は検討していないが、様々な団体と連携して情報の収集を行いたい。  
 Q ② 不登校児童生徒への支援充実を  
 Q 不登校児童にオンライン授業の機会充実を。  
 A 適応指導教室に通う生徒がオンライン授業に参加できる取組を進める。  
 Q ③ 女性参画拡大に向けた取組を  
 Q 本市の女性管理職の割合は。  
 A 部長・副部长級は12%

勝山 祥 (草の根)



① 活力ある市政について  
 Q ベンダーロックイン(特定のIT企業が契約を続けて他社の参入が難しくなる状況)への対応は。  
 A 独自の仕様に基づいていることが多く委託先変更が困難。システムが全国標準化され解消されることが望ましい。  
 Q ② 共生社会実現に向けて

Q 共生社会への取組は。  
 A パラリンピアンとの交流やあいさつ運動を進める。  
 Q みずほ学園の正規理学療法士が退職した後の対応は。  
 A 令和2年度に定年退職したが、週に2日専門講師の理学療法を実施している。  
 Q 新たに理学療法士を採用してはどうか。  
 A 今後の状況に応じて検討。  
 Q ③ 公園について  
 A 公園の落ち葉を腐葉土化し、昆虫採集しやすくしては。  
 A 害虫や臭気の発生などの影響があり難しい。

村元 寛 (草の根) 議員の市政一般質問通告及び市の回答につきましては、本人の申し出により掲載を見送ることとなりました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。



## QRコードについて

議員顔写真下のQRコードをスマートフォンやタブレットなどで読み取ると、それぞれの議員がこれまでに議場で市政一般質問を行ったときの録画映像にアクセスできます。  
 なお、9月定例会においては市政一般質問の通告を取り下げたため、映像はございません。

**議会映像をインターネットで配信中!**

ライブ中継 本会議を生放送  
 録画映像 本会議終了後1週間程度で配信

または  
 富士見市議会 中継 検索

## ■次回定例会のお知らせ■

- 11月30日(火) 開会・議案内容説明
- 12月 3日(金) 議案総括質疑
- 12月 7日(火) 総務常任委員会
- 12月 8日(水) 文教福祉常任委員会
- 12月 9日(木) 建設環境常任委員会
- 12月10日(金) 市政一般質問
- ~16日(木)
- 12月17日(金) 予算決算常任委員会
- 12月22日(水) 委員長報告・採決・閉会

※日程は変更になる場合もあります。

# 令和3年第3回(9月)定例会 審議結果

議案等番号	議案等の名称	議案等番号	議案等の名称
56	富士見市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	71	令和2年度富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
57	富士見市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	73	令和2年度富士見市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
58	富士見市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	74	令和2年度富士見市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
59	富士見市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	75	令和3年度富士見市一般会計補正予算(第6号)
60	富士見市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	報告9	令和2年度富士見市一般会計継続費精算報告書について
61	令和3年度富士見市一般会計補正予算(第5号)	報告10	令和2年度公益財団法人キラリ財団決算について
62	令和3年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)	報告11	債権の放棄について
63	令和3年度富士見市介護保険特別会計補正予算(第1号)	議17	出産育児一時金の増額を求める意見書の提出について
64	令和3年度富士見都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	議18	オンライン本会議の実現に必要な地方自治法改正を求める意見書の提出について
65	令和3年度富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	議19	国民の命と暮らしを守り「新型コロナウイルス」感染症対策のさらなる実施を求める意見書の提出について
70	令和2年度富士見都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	議21	米価暴落に対する緊急対策を求める意見書の提出について

\*「報告」については採決の対象ではありません

全会一致可決の議案等

賛否の分かれた議案等

議案等番号	議案等の名称	審議結果	21・未来クラブ				草の根				公明党				日本共産党				立	維			
			小泉	田中	佐野	尾崎	齊藤	関野	村元	加賀	熊谷	勝山	今成	篠田	篠原	山下	深瀬	木村			寺田	小川	川畑
66	令和2年度富士見市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
67	令和2年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
68	令和2年度富士見市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	令和2年度富士見市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	令和2年度富士見市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情22	びん沼自然公園整備事業に関する説明を求める陳情(陳情者 瀬戸口広樹)	不採択	×	×	×	×	議長	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	
陳情23	国へ教員免許更新制廃止の意見書の提出を求める陳情(陳情者 富士見市教職員組合執行委員長 松木裕二)	不採択	×	×	×	×	議長	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
陳情24	菅首相による日本学術会議会員の任命拒否を撤回し6名の任命を求める意見書の提出を求める陳情(陳情者 戦争させない!オール富士見実行委員会 代表 小倉洋一)	不採択	×	×	×	×	議長	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	
陳情25	「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」(北朝鮮人権法)「北朝鮮当局によって拉致された被害者等の支援に関する法律」(拉致被害者支援法)等の改正を求める意見書の提出を求める陳情(陳情者 北朝鮮に拉致された日本人を救出する埼玉の会 代表 竹本博光)	不採択	×	×	×	×	議長	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
議20	名古屋入国管理局の死亡事案の再発防止のため情報公開等を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	議長	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	
議22	デジタル改革関連法の慎重な運用を求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	議長	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	

※表中、会派の「立」は立憲、「維」は日本維新の会を省略し表記しています。 ※表中、議案等番号の「議」は議員提出議案です。 ※議長賛否の表明は議長を除く議員の賛否が同数の場合のみです。

## 決算議案に対する各会派の討論

令和2年度の一般会計他8会計の決算は、議員全員で構成された予算決算常任委員会に付託されました。審査にあたり、総務、文教福祉、建設環境の3分科会を設置し、各分科会において審査しました。本会議最終日には、予算決算常任委員会委員長が委員会審査報告を行った後、質疑、討論、採決が行われました。ここでは定められたスペースで各会派が執筆した原稿を掲載しました。

**日本共産党 (不認定)**  
コロナ感染が増え続ける中、コロナを収束させ、同時に事業者にしっかりした支援を行うことが緊急事態宣言発出直後から必要であり、市民の暮らしに寄り添った市単独事業を進めるべきだった。シティゾーン計画やびん沼自然公園のリニューアル工事は、環境、交通、水害など、もっと市民の声を聞き計画の見直しが必要。消費税増税やコロナの影響で格差がさらに広がる中、市民の困難な暮らしに寄り添う姿勢が求められている。


**公明党 (認定)**  
令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により市民生活が変化中、市民の命と生活を守る行財政運営だった。国の特別定額給付金・スクスク子育て応援特別給付金・ひとり親世帯臨時特別給付金の実施、富士見市プレミアム付商品券の発行、コロナ禍での災害備蓄品の拡充など、市民に寄り添う施策を展開したことを評価する。複雑化する行政課題を克服し新しい時代を切り開く施策の推進を望み、認定の討論とする。

**草の根 (認定)**  
コロナ禍にあって、積極的な補正予算の編成は評価できる。一方で不登校児童が増加しているなど、多様な学びの場を確保すること。縮小した町会活動への支援や例年指摘している屋外スポーツ施設の維持管理の改善も必要である。また、児童虐待への対応に不安を感じる。迅速で的確な対応を強く求める。最後に、懸念されていた市税の大きな減収がなかったことは好材料。将来を見据えた財政運営を要望し認定とする。

**日本維新の会 (認定)**  
富士見市プレミアム付商品券については、業種別だけでなく、使用された地域等に偏りがないかを含めた検証が必要。今後の検証資料について改善を求めたい。担当世帯が100世帯を超えるケースワーカーもおり、増員の検討が必要である。危険ブロック塀撤去への補助金の実績がゼロであったのは大変残念。大阪の地震の際に、女の子が亡くなった悲劇を風化させない取組を。

**21・未来クラブ (認定)**  
新型コロナウイルス感染症の影響により、補正予算が13回組まれる異例の事態だった。第5次基本構想後期基本計画の最終年度であり、本来は次期総合計画につながる魅力あふれる施策を反映したものと認識するが、中止や縮小となったものも少なくない。そうした中、新型コロナウイルス感染症への対応は、市独自の施策も含め適切であり、市民生活への影響を最小限にできたと評価する。

**立憲 (認定)**  
前年度はコロナ関連の補助金や助成金の増があり前年比40.1%増であった。取組としては、緊急生活支援対策室の設置、商品券やクーポン券、水道料金の減免等の経済対応を評価する。反面、コロナの影響により個人及び法人市民税の減少もあり今後の動向を危惧する。そのなかで財政調整基金は3億円増加した。コロナ関連での市独自の支出は約1,200万円であり、状況により取崩して財源に充てる事を指摘し認定とする。



### 意見書

今定例会において、4件の議員提出議案が可決されましたので、地方自治法第99条の規定に基づき、国会及び政府に対し意見書を提出しました。

## 議案審議報告

**議案第58号**  
富士見市手数料条例の一部を改正する条例の制定について (全会一致可決)  
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。  
《主な内容》  
マイナンバーカード(個人番号カード)の再交付手数料について1件800円と規定する項目を削除 [令和3年9月1日施行]

**議案第75号**  
令和3年度富士見市一般会計補正予算(第6号) (全会一致可決)  
既定の予算に1億3,515万7,000円を追加し、予算の総額を365億4,709万6,000円とするものです。  
《主な内容と金額》  
新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に伴い、売上げが減少した市内小規模企業者等に対する支援金を追加給付するための補正 [1億1,269万7,000円]  
新型コロナウイルス感染症の感染者数の増加に伴い、感染症を罹患している自宅療

養者及び自宅待機を求められている濃厚接触者に対する支援品の購入費用等を増額するための補正 [381万1,000円]



- 出産育児一時金の増額を求める意見書
  - オンライン本会議の実現に必要な地方自治法改正を求める意見書
  - 国民の命と暮らしを守り「新型コロナウイルス」感染症対策のさらなる実施を求める意見書
  - 米価暴落に対する緊急対策を求める意見書
- 意見書の本文は議会ホームページ及び議会事務局で閲覧できます。